街暮らしの新たな魅力を見つけるために

街なかで自分らしく暮らす人にお話を伺いました。

メッセージ

山田　健一郎さん

特定非営利活動法人 さが市民活動サポートセンター 理事長
公益財団法人 佐賀未来創造基金 理事長

“三方よしの商売人”として そしてNPOとして 少しでもこの街の役に立てれば…

こんにちは！ 唐人町の「やまけん」です！

7年前から佐賀の街のど真ん中、異国人が行き交った歴史と伝統ある「唐人町」で働き始め、今は佐賀市の公共施設「TOJIN 茶屋」の中で働いています！ この街で働き始めるようになったきっかけは、同じ中央大通りの「よってこ十間堀」です（現在は閉店）。ここでは障がい者の就労支援やユニバーサル就労・農福連携の促進というコンセプトのもと、コミュニティカフェの立ち上げ支援や運営をさせていただきました。そして現在は、障がい者や高齢者、子どもやそれ以外の方も含めた誰もが心地よい時間を過ごせ、住み、そして働ける環境をつくりたいという思いで、TOJIN 茶屋も運営しています！

唐人町には、最近若者が増えました。新しくお店を始める人、TOJIN 茶屋の宮崎県出身新婚店長さん、街から生まれた最年少市議会議員など。またカフェに休憩に来る女の子や、ボランティアでお店を手伝ってくれる仲間の活躍も目立ちます。私たちは TOJIN 茶屋をセミナーや様々な団体の活動発表の場、そして子ども食堂やエリマネ協議会（後述）の拠点としてだけでなく、ソーシャルな取り組みをする方々の居場所や出番を創出する場として活用しています。さらに唐人町では 30 年ぶりに商店街青年部が再結成されました。皆で一緒に街の賑わいについて考え、チャレンジし、失敗しながらも一緒に進み続けています！

現在、特にエリマネ協議会（佐賀市中央大通りエリアマネジメント協議会）として力を入れているのが、クリーク（水辺環境）や空き家を活用する事業です。街なかの課題や新しい価値を、皆の知恵と汗で生み出していく取り組みを実践しています。例えば、先日の「栄の国祭り」。佐賀北の女子高校生の“街なかお化け屋敷”企画や、佐賀大学地域デザイン学部のアーティスト・イン・レジデンス的な活用企画（住み込みながら作品をつくり、空き家で展示会）が挙げられます。これらの企画では社会人のみならず、高校・大学生が中心になって関わってくれました。またお祭りでは、通常のカフェ営業と同時に、ゴミ減量運動や空き家でのシェアハウス活動など、自分たちができる範囲のソーシャルな活動も少しずつ実践しました。このように現在は唐人町という、自分たちの好きな場所で、いろんな人のドラマが起こり、育み合い、生き物のように街が変わってきています。そんな街で地域の方々の暮らしと関わり合い、川掃除や運動会などいろいろなところでお世話になりながら、私自身も育てられてきました。だからこそこの街が大好きなんです！ あと、エリマネだけでなく、私たちのもうひとつの取り組みである“佐賀未来創造基金”という財団も5年前に設立し、少しずつ街なかの活動と連携した取り組みを始めています。まだまだ失敗も多いですが、街なかに関わってくれる方々の元気をもらいながら官民協働でいろいろなチャレンジをしているところです！ ちなみにエリマネについては、毎月第 3 水曜日に TOJIN 茶屋 3 階で会議をしているので、街なか活性化のアイデアを持ってぜひ遊びに来てくださいね！

そもそも私は、商売人こそ社会に役立てる存在でなければならないと思っています。近江商人の言葉に「三方よし」という素晴らしい言葉があります。

「売り手よし、買い手よし、世間よし！」

私はこれからも、“三方よしの商売人”として、NPO として働きながら、少しでもこの街の役に立てればと思っています。みなさま、これからもよろしくお願いします！！

[INFORMATION]
NPO法人さが市民活動サポートセンター　☎0952-20-2063●佐賀市唐人2丁目5-12 TOJIN茶屋3F
公益財団法人 佐賀未来創造基金　☎0952-26-2228●佐賀市唐人2丁目5-12 TOJIN茶屋3F
※「TOJIN茶屋」は、唐人町商店街振興組合とさが市民活動サポートセンターが共同で、指定管理者として運営しています。

薬剤師 174 名
（H29 年 4 月 1 日現在）

あなたの、かかりつけ薬局。
地域とともにくすり屋 107 年
ミズ・溝上薬局
http://www.miz-pharmacy.co.jp/ ミズ 検索

街なかかわらばんさが INFO ごあんない

ご意見・ご感想、お問い合わせはコチラへ

街なかかわらばんさが 編集室

〒840-0826 佐賀市白山二丁目7-1 エスプラッツ2F
［特定非営利活動法人まちづくり機構ユマニテさが内］

TEL 0952-22-7340
FAX 0952-22-7346
MAIL kawaraban@humanite-saga.com

編集後記

今回は「街なかにお金を落とすことでできる社会貢献」という切り口。お金は回っていくものですが、そこにソーシャルな観点を絡めることを、個人的にも意識していきたいです！（編集長　庄野雄輔）

●アートディレクション・デザイン／松本健児（PINEBOOKS）●イラスト／山本翔（CIEMA）●ライター／庄野雄輔、藤田早紀、北村朱里、清家麻衣子、木本真澄、木下美樹枝

人とまちをつなぐ新聞

街なか かわらばん さが TAKE FREE

2017.9.15 号

no.27

Machinaka Kawaraban

脈々と続く街なかのチャリティ

街なかのおすすめ賃貸情報更新中！
www.kawaraban-web.com

自分が興味あるお店やイベントを楽しむだけじゃなく、自分が足を運ぶことで誰かのためになれば嬉しいですよね。そこで今回は街なかを舞台に続くチャリティ活動や、イベント、そして買い物・飲食・体験を通じて、社会貢献に繋げられる機会を紹介していきます。普段の楽しみ方もちょっと視点を変えると違ったものになるはず!

ACTIVITY アクティビティ

01 「最終的な目標は活動自体が必要でなくなることなんです」

わんにゃん譲渡会

記者 街なかの愛の伝道師 庄野雄輔

656 広場では約 4 年前から、犬猫の里親さがしの活動「わんにゃん譲渡会」が毎月行われています。発起人は動物愛護団体である「ハッピーボイス」の代表、甲斐めぐみさん。彼女は犬猫の里親さがしや保護、不妊手術など、以前から不幸な動物を生まないための活動を個人で続けてきたそうですが、2011 年、任意団体の「ハッピーボイス」を設立。団体として多くのボランティアさんと一緒に活動を広げてきました。

▲ 元気に会場を動き回るワンちゃん。来場者を元気な姿でお出迎え。

▲ フリーマーケットでは、可愛らしい手作り雑貨が並びます。

▲ 暑い中、656広場は動物好きの方で賑わっていました。

ハッピーボイスの活動内容はいくつかあります。一つ目は冒頭の「わんにゃん譲渡会」。殺処分される犬猫を減らすため、できる範囲で動物管理センターから引き取って里親探しをしています。元々は金立だけで不定期に開催していたそうですが、現在は 656 広場でも月一回、どん ×3の森でも年一回と広がっています。ちなみに譲渡にあたっては、動物たちの未来のために譲渡条件が設けられており、その条件に賛同していただいた方のみ、2 週間のトライアルを経た上で引き渡されます。さらに実際に譲渡した後もスタッフの方が飼い主さんと定期的にコミュニケーションを取ることで、犬猫が再び不幸にならないようなケアを続けています。また、この譲渡会ではフリーマーケットも開催されており、全国から送られてきた手作り雑貨などが並んでいます。犬猫を保護していくには、犬猫の餌代や不妊手術代、治療費など多額の費用がかかるため、このフリマでの収益やカレンダーの売上、全国からの寄付で活動資金が賄われているのです。フリーマーケットは、実際のボランティア活動には参加できないけれど商品の提供（無償）ならば・・・という方から雑貨などが送られてきます。あと家でいらなくなったものを集めてバザーが開かれることも！

▲ ハッピーボイスのスタッフの皆さん。

ハッピーボイスでは他にも TNR という活動が行われています。これは無制限に不幸な命をふやすのではなく、一代一代の命を大切にしていくために、猫を保護し不妊手術を行って元の生活場所に戻す活動のこと。実際、現在までに約 2000 頭の不妊手術が行われており、保健所に運ばれる数も減っているそうです。

「656 広場は天気の心配をしないでいいので使いやすいですね。これからも譲渡会で使っていきたいと思います。ただ最終的な目標はこの活動自体が必要でなくなる社会にすることなんです」と語る代表の甲斐さん。活動に共感する人は、656 広場に足を運んでみてはいかがでしょう？

[INFORMATION]
わんにゃん譲渡会 in656 広場　●日程／毎月一回●場所／ 656 広場（佐賀市呉服元町2−25）●問い合わせ先／ happyvoice_staff@yahoo.co.jp もしくは 080-5609-0449（動物愛護ボランティアハッピーボイス）●HP／ http://happy-voice.org ／●ブログ／ http://happyvoice.sagafan.jp ／※わんにゃん譲渡会の実施スケジュールはブログでチェック！

ACTIVITY アクティビティ

02 佐賀の『寺町』でお洒落なマルシェを。

厳浄寺（ごんじょうじ）マルシェ

記者 まちなか好きの農業女子 藤田早紀

唐人町の厳浄寺では、年 2 回（5・10 月）の法座開催に合わせて、チャリティマルシェを開催しています。マルシェの売上は天災の被害に遭われた地域に寄付しており、次回の第六回は北部九州豪雨の被災地に寄付する予定です。主催者は、とても朗らかなご住職夫妻。お二人のこだわりは、チャリティだけど、お買い物をウキウキ楽しめるようなマルシェにする事！ その為に美味しい食べ物や可愛い雑貨等をご夫婦で仕入れて、お洒落なディスプレイを心掛けているそう。社会貢献もしつつ、昔ながらの、顔を付き合わせて皆が集う場所を作っていけるよう、今後も地道にマルシェを続けていきたいとの事でした。いきなり法座は敷居が高いという方も、まずはマルシェの参加を通して、お寺の雰囲気を楽しんでみてはいかがでしょうか♪

▲ 厳浄寺は中央大通りから東に一本入った通り沿いにあります。

▲ 出店の様子②（お野菜も！）。

▲ 出店の様子①（可愛い雑貨）。

[INFORMATION]
厳浄寺マルシェ　●日程／5月と10月（次回は10月14日（土）、15日（日））●場所／厳浄寺（佐賀市唐人2丁目2-23）●問い合わせ先／☎0952-23-7083（厳浄寺）●駐車場／あり